

# 農業委員会だより

—発行：東海市農業委員会—  
—編集：みのり編集委員会—

# みのり

令和8年

3月

第86号



私は現在、派遣社員として働きながら、実家の農地を守るために農業に従事しています。かつて両親が丹精込めて育てていた農地も、一時期は作付けが途絶え、放っておけば荒地となってしまう危機にありました。

幼い頃から見てきたあの緑豊かな風景を失いたくない。その一心で、私は代々続くみかん栽培を引き継ぐことを決意しました。現在は仕事と農業の両立に追われる日々ですが、土に触れ、木々の成長を感じる時間は、私にとって何物にも代えがたい「生きがい」となっています。

私が目指しているのは、ただ過去を守るのではなく、「いちじく」の栽培にも挑戦しています。いちじくは非常にデリケートな果実ですが、その分、収穫の喜びもひとしおです。伝統的な作物と、自分が新しく選んだ作物。この二つを並行して育てることは、私にとって「親の世代への敬意」と「自分らしさの追求」を同時に表現するプロセスでもあります。



私の未来のビジョンは、この地を「持続可能な笑顔の源泉」にすることで、兼業農家（半農半X）というスタイルは、多角的な視点で農業を捉えることができる強みだと考えています。将来的には、ただ出荷するだけでなく、SNSなどを通じて栽培のストーリーを発信したり、いちじくを使った加工品の開発にも挑戦したいと考えています。

荒地になるはずだった場所を、誰もが「美味しい」と喜んでくれる果実が実る場所に変えていく。この挑戦を通じて、地域の風景を守り、次世代に誇れる農業のかたちを築いていきたいと強く願っています。

農業で難しい

名和町 T・K

私は70代前半です。65歳までは会社員をしていて、農作業は休日に関の手伝い程度で携わっていましたが、

正直積極的に行っていたわけではありませんが、

地域の話題

父が亡くなってからは、農地の維持・管理を行うため、農作業に少しずつ従事していますが、素人レベルの私ではうまくいきません。

土づくり、種まき、作物の管理、消毒など、何をどのよう

にすれば良いのかを、毎日父の残した日記を読んだり、インターネットで検索したり、近所の農家の方に相談しますが、なかなかうまくできません。今になって、父の生前時に色々覚えておけば、と後悔の連続です。

最近、また種が発芽

する、農作物が大きく育つなど、農業の楽しさを少しずつ実感しています。この先、いつまで続けられるかわかりませんが、健康である限り頑張りたいと考えています。



私の60年

荒尾町 60代の男

私は60数年前、当地農家の5代目として生まれました。

生まれたころの記憶では、

家の周囲は田に囲まれ、みかん畑は山林の中にありました。祖父の代にみかんの栽培を始めたと聞いています。小学生の頃に畑周辺の住宅開発が始まり、道はアスファルトで舗装されました。

30代になると、自宅周辺の区画整理が進み、畑地も耕地整理が行われ、この頃から農業を維持しているという思いを持ち始めました。

40代になると、父親が他界しました。当時から母の行う農作業は手作業中心でしたが、その母も90代を迎え、体力も衰えてきました。母の行っていた手作業中心で多品目の栽培は、課題もたくさんあり見直しをしています。

また、所有していた農地が隣地との一体利用という形で売却されましたが、代替地は考えず、車の接続も難しいところが残ってしまいました。代替地で果樹栽培をしながらしたのは、成木まで時間がかかる以外に、自分が作業できなくなった時に荒廃農地となるのを防

ぐためです。子が農業を継ぐかは、本人が決めることですから。

現在は、露地野菜栽培のため、耕地整理された農地を借用し経営しています。自身での販路確保と地域貢献、健康維持が中心の経営です。

無題

富木島町 K

農家を引退してほぼ1年になります。今までは、ほぼ毎日畑へ行って農作業をしていましたが、今では曜日に関係なく働く日々を過ごしています。やめてから改めて大変な仕事だと実感しています。これから農家を志す若い人には、頑張るって仕事をしてほしいと思います。そして、現在も農家をしている方は、無理をせず少しでも長く続けてほしいです。

また、引退して1年が経ち、時間が取れるようになったので、少しずつ新しい作物を作っていくように思っています。



### しかし 困ったもんだなあ。

大田町 匿名さん

年末に新聞で、関東地方でネギの盗難があったという記事を見ました。メディアの記事になるのは、ほとんどが収穫物でかつ量が多い場合です。しかし、皆さんも経験していると思いますが、苗も窃盗に遭います。昨年の11月20日ごろに、東海市の南の方にある新田において、定植したばかりの苗が25本抜き取られました。それで終わっていただまだ良かったのですが、2回目がありまして。12月中旬ごろで、違う品種が10本抜き取られました。この1回目と2回目は明らかに抜き方が同じで同一犯です。大先輩達からすれば、「そんなのしょっちゅうだよ」と思われることでしょう。確かに、本数は全体量からするとほんの

少しです。しかし、その人の性格にもよると思います。が、労力と時間をわざわざかけて植えたものが盗られるのは正直ショックです。今度は収穫時に盗られるのでしょうか。なぜ植えているときに声をかけることができないのでしょうかね。最近では、身勝手な振る舞いや良識、常識が欠けている人が多くなりつつあり、社会全体が壊れてしまいうな気がします。

## 地域の話

### 今日の報道に思う

養父町 鉄粉きらい

昨今のテレビや新聞の報道は、米が高い、野菜が高いとの報道ばかりで、農家が儲かっているとは思っていません。むしろ、悪く思っているような報道ばかりです。ほかの産業ではこの様なことはないと思います。

確かに、東海市の農家の中には、農業収入と不動産収入の二刀流の方々も多くいます。しかし、その方々も多額の固定資産税や相続税を支払っています。そろそろ米が高いだの野

菜が高いだのもういいのではないのでしょうか？何でもかんでも値が上がる時代です。そんな中、必死に農業に携わる私達が、農業収入だけでゆとりある生活ができることを望みます。

### 五十年の歳月を 振り返って

加木屋町 匿名



私がみかん栽培の道歩み始めてから、早いもので五十年の月日が流れました。春には山いっばいに広がる白い花の香りに包まれ、夏には照りつける太陽の下で汗を流し、秋から冬にかけ

ては黄金色に輝く果実に喜びを感じる。そんな自然のサイクルと共に生きてきた半世紀でした。しかし、私の愛したこの風景が、今、静かに、しかし確実に変わりつつあることに、一抹の不安を禁じ得ません。かつては活気に溢れていた農地も、今では担い手の不足や高齢化により、荒れた耕作放棄地が目立つようになりました。気候変動による異常気象や資材の高騰など、私たちを取り巻く環境は年々厳しさを増しています。「果たして、次の世代にこの地を胸を張って引き継げるだろうか」という思いが、夜、土に汚れた手を洗うたびに頭をよぎります。

い局面にあるかもしれない。しかし、土を耕し、木を世話し、ようやく手にした一粒の果実が誰かの笑顔を作る。この手応えこそが、人間が生きる上での原点ではないでしょうか。これからの日本の農業に必要なのは、新しい技術や効率化だけではありません。「食べる人を思う心」と、その尊さを理解し支えてくれる社会の視線です。

私はいま、このオレンジの山を守り続けます。そして、いつか若い世代が「農業をやってみよう」と志したとき、彼らが希望を持って土に触られるような、そんな日本であってほしいと切に願っています。改めてこの大地に感謝し、これからの日本の農業が、冬の寒さを乗り越えて春に芽吹くみかんの木のように、力強く再生していくことを信じています。

確かに今の農業は、効率や経済性だけを見れば厳し

い局面にあるかもしれない。しかし、土を耕し、木を世話し、ようやく手にした一粒の果実が誰かの笑顔を作る。この手応えこそが、人間が生きる上での原点ではないでしょうか。これからの日本の農業に必要なのは、新しい技術や効率化だけではありません。「食べる人を思う心」と、その尊さを理解し支えてくれる社会の視線です。私はいま、このオレンジの山を守り続けます。そして、いつか若い世代が「農業をやってみよう」と志したとき、彼らが希望を持って土に触られるような、そんな日本であってほしいと切に願っています。改めてこの大地に感謝し、これからの日本の農業が、冬の寒さを乗り越えて春に芽吹くみかんの木のように、力強く再生していくことを信じています。





農業フェスティバルで農産物の品評会が行われ、次の方々が入賞されました。

最優秀賞

愛知県知事賞

花井 豊和(みかん)



愛知県知事賞

小島 道子(たまねぎ)

東海市長賞

早川 初男(柿)

東海市議会議長賞

蟹江 秀樹(キウイ)

東海市農業委員会会長賞

近藤 輝明  
(カリフラワー)

あいち知多

農業協同組合長賞

早川 明美(みかん)

愛知県経済農業協同組合

連合会経営管理委員会

会長賞

佐野 貴之(ナス)

愛知県農業共済組合長賞

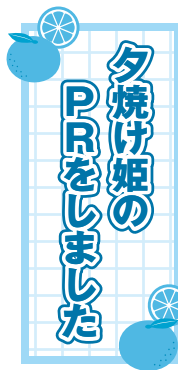
坂 信義(米)

東海市果樹振興会長賞

坂野 泰忠(みかん)

東海市ふき振興会長賞

小野 久幸(ふき)



11月1日・2日に行われた東海秋まつりで、「夕焼け姫」のPRをしました。

「夕焼け姫」は愛知県独自ののかんきつの新品種です。果皮が鮮やかな夕焼けのような色で、酸味が少ないことが特徴です。東海市では、「夕焼け姫」を新たな地域特産品としてブランド化することに取り組んでいます。



農業委員会研修会

農業委員会では、毎年農地に関する知識等研鑽のため、講師をお招きし、研修会を実施しています。

8月20日に、半田税務署より講師をお招きし、農地の相続税の納税猶予制度について、研修会を実施しました。

相続により取得した農地を、引き続き農地として使用する場合、一定の要件の下で、相続税の納税が猶予され、相続人が死亡した場合に猶予税額が免除されます。

詳しい要件等については、税務署又は農業委員会事務局へお問い合わせください。



農地に  
まつわる

Q

&

A

のコーナー

農業委員会事務局では、農地に関するお問い合わせを日々頂いています。

その中でも、よくあるご質問についてご紹介いたします。

**Q** 農地を相続しましたが、農業以外の仕事をしており、耕作していません。今後どのようにしたいでしょうか。

**A** 農地の所有者は、農地の適正かつ効率的な利用を確保しなければならぬと農地法第2条の2で定められています。耕作はしていませんが、雑草や樹木が周辺農地や住宅地、道路等に越境しないよう草刈り等を行わなければなりません。また、ご自身

で耕作されないのであれば、営農者への貸し出し、譲渡もご検討ください。その際は、農業委員会へ農地の貸し出し、譲渡のあつせん希望を出していただく必要があります。詳しくは農業委員会事務局までご相談ください。

**Q** 農地を借りたい（買いたい）です。

**A** 農地は、相続した場合を除き「農業者」と認められた方しか取得できません。生前贈与であっても同様です。

農地を取得する際は、農地法第3条の許可を受ける必要があります。そのためはいくつかの要件があります。農地は

「農地法」という法律で、国の安定的な食料自給を担うために守るべきものという位置づけがされています。このため、農地を取得するには、その農地を将来に渡って安定的に耕作していくだけの技能や知識、事業計画や資金などが求められます。詳しい要件については、農業委員会事務局までお問い合わせください。



農地改良届について

農地改良をする場合、その埋め立て、盛土等の高さが30センチメートル以上の場合、農業委員会に対し農地改良届が必要となります。

また、農地改良届以外に、盛土規制法等その他の法令に関する許可申請が必要な場合もありますので、届出前に一度関係課にお問い合わせください。



農業者年金に  
加入しませんか？

農業者年金は、農業者のための公的年金です。

【加入要件】

① 20歳以上60歳未満

② 国民年金第1号被保険者

③ 年間60日以上農業に従事している

詳しい内容については、農業委員会事務局まで



「みのに」情報募集

農業に従事して得た経験や知識を幅広く皆さんに知っていただくため、情報・記事を募集しています。提供して頂ける方は最寄りの農業委員、農地利用最適化推進委員又は農業委員会事務局までお問い合わせ下さい。



去る1月17日から1月21日までの5日間、東海市芸術劇場で東海フラワーショウ2026が開催されました。

1月17日・18日の2日間、即売会及びイベントが開催されました。こども花店や寄せ植え教室、苔玉教室に加え、苔テラリウム教室やワークショップ、ボタニカルアート展示も行われ、大変盛り上がりしました。

また、装飾展示では、市内の園芸農家が栽培している洋ランや観葉植物、約60種類、1千鉢の色鮮やかな花がアイデア豊かに飾り付けられ、多くの来場者を和ませてくれました。



- 最優秀賞**  
 深谷 俊紀  
 ファレノプシス  
 アマビリスキング
- 優秀賞**  
 蟹江 稔久  
 シンビジウム  
 純恋花
- 優良賞**  
 森岡 宏之  
 バンダストリス  
 ブルースター  
 ヨネザワラ
- 東海市長賞**  
 下平 剛徳  
 バンダ  
 ピュアピンク  
 サンボーイ
- あいち知多 農業協同組合長賞**  
 伴野 良樹  
 デンドロビウム  
 プレシヤスラブ  
 ベビーチック
- 東海市議会議長賞**  
 久野 洋揮  
 ファレノプシス  
 イエロースター
- 東海市農業委員会長賞**  
 加古 邦博  
 アンスリウム  
 アロハ
- 日本製鉄株式会社 名古屋製鉄所長賞**  
 神野 佳久  
 シンビジウム  
 つながり
- 大同特殊鋼株式会社 知多工場長賞**  
 大橋 将人  
 デンドロビウム  
 ファンシーエンジェル  
 リセ
- 愛知製鋼株式会社社長賞**  
 今頭 克仁  
 シンビジウム  
 プリンセスマサコ
- 東海市観光協会長賞**  
 平松 諭  
 オリエンタルリリー  
 OTユリ シヤインオン  
 ローズリリー  
 アイシヤ(白八重)



- 中日新聞社賞**  
 北川 浩徳  
 パフィオペデイラム  
 ロピンフッド
- 東海市花卉園芸組合長賞**  
 近藤 樹  
 フィロデンドロン  
 チェリーレッド

